

□岸和田市産業活性化推進委員会における検討状況

	開催日時	会議次第	主な会議資料	主なご意見	会議内容
第1回	H26.2.4	<p>(1)岸和田市における産業の状況について</p> <p>①産業統計からみた岸和田市の状況について</p> <p>②岸和田市産業振興関連施策の概要について</p> <p>③岸和田市内事業者へのアンケートについて</p> <p>(2)岸和田市産業振興新戦略プランの見直しについて</p> <p>①岸和田市産業振興新戦略プランの見直しの考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業統計からみた岸和田市の状況</li> <li>・岸和田市産業振興関連施策の概要</li> <li>・岸和田市内事業者へのアンケート</li> <li>・岸和田市産業振興新戦略プランの見直しの考え方</li> </ul>	<p>■岸和田市の現状分析について</p> <p>○SWOT分析の見直し。</p> <p>○今後の岸和田市の人口推移を予測することも大事</p> <p>■プランについて</p> <p>○産業振興新戦略プランの方向性と国の成長戦略や府の施策の方向性との整合性</p> <p>○どこに的を絞って取組むのか明確にすべき</p> <p>○国・府・市の役割分担の中で、市として重点的に取組む施策をどのように考えているか。</p> <p>■施策について</p> <p>○企業の海外展開に対する支援制度の検討</p> <p>○岸和田産業の活性化には大企業の誘致が必要</p> <p>○ユーザーの視点に立ったこれまでとは異なる情報発信方法の検討</p> <p>○岸和田市内における雇用のミスマッチの是正</p>	<p>岸和田市における産業の状況と課題認識について、添付資料をもとに事務局からの説明が主なものとなる。</p> <p>このため、岸和田市産業振興新戦略プランの見直しの方向性についての議論が十分に行なうことができなかったことから、第2回委員会において、取組み施策の方向性について議論いただくこととなった。</p>
第2回	H26.6.4	<p>(1)岸和田市産業振興新戦略プランの見直しの方向性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興新戦略プランの見直しの方向性について</li> <li>(その他)</li> <li>・大阪府人口減少社会白書</li> <li>・年齢階層別予測人口表（岸和田市）</li> <li>・府内市町村人口変動表</li> <li>・成長戦略の当面の実行方針</li> <li>・SWOT分析結果（一部）</li> </ul>	<p>■戦略のターゲット設定</p> <p>○「強い産業」を育てることを目指す戦略プランにおいては、創業や経営革新などの相談・融資を支援していくことが必要。</p> <p>○「3：4：2：1」の4を引き上げる支援と2の転落を防ぐセーフティネットが問題となる。</p> <p>■国や府の施策の活用</p> <p>○人口減少時代においては、産業競争力強化法に基づく施策や特区制度を利用して、他自治体よりも一歩踏み込んだ取組みをすべき。</p> <p>■企業立地に関する優遇対象の拡大</p> <p>○企業立地の優遇措置をエリアの限定をせずに実施すべき。</p> <p>■ワンストップ窓口の設置</p> <p>○市役所と商工会議所の支援施策が重複しているので、産業会館の中に産業プラザを設け、支援の窓口を一元化すべき。</p> <p>○ワンストップ情報窓口やの設置は実施すべき。</p> <p>■産業と教育、産業と子どもの視点</p> <p>○産業と「教育」、「子ども」のコラボレーションができればよい。</p> <p>■プロジェクトベースによる「場」の設定</p> <p>○「竹」の事例のようにプロジェクトベースで集まる場を設定する方がよい。</p> <p>■各企業紹介・工場見学などの「場」の設定</p> <p>○同じ土地に居る事業者であっても、お互いに何をやっているか知らない。市内の企業のマッチングの仕組みが無く、現在は口コミに依るところが大きい。岸和田の中で工場見学等を行ってマッチングをしようか。</p> <p>■場の設定とコーディネーター</p> <p>○市役所がコーディネーター役を担ってほしい。</p>	<p>岸和田市産業振興新戦略プランは、活力ある強い岸和田をめざす成長のための戦略としての位置づけを継続し、「岸和田市産業の連携強化」を施策展開のテーマとした。</p> <p>しかし、会議資料で示した「岸和田市の取組み施策の方向性」では、全体としての具体的な取組みイメージができないため、第3回委員会では、施策体系の変更案等を提示する。</p>

	開催日時	会議次第	主な会議資料	主なご意見	会議内容
第3回	H26.7.24	(1)岸和田市産業振興新戦略プランの施策体系の見直し(案)について (2)同業種交流及び異業種交流に関する市の関与のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧目次</li> <li>・岸和田市産業振興新戦略プラン(改定)の枠組みとまちの発展</li> <li>・「戦略の柱」の見直しの考え方について</li> <li>・連携・協働する場づくりと展開支援について</li> </ul>	<p>■プランの施策体系について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施策体系内における「基本方針」、「施策」の表現については、片仮名表記を改めるなど、分かりやすい表記に改めるほうがよい。</li> <li>○産業競争力強化法に基づく、創業支援計画の策定を検討してはどうか。</li> <li>○農林水産業は、担い手を育てるという課題のウエイトが大きい。基本方針9の中には「担い手育成・後継者育成支援の検討」がふくまれるのではないかと。</li> <li>○販路開拓支援については、行政が手を出さない方がよい場合もあり、企業の意見を踏まえながらどこまで取り組むのか考えた方がよい。</li> </ul> <p>■同業種・異業種交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行政がゼロからマッチングに取り組むのは難しいことなので、銀行のノウハウを活用させてもらうのもやり方の一つである。</li> <li>○行政が主催する機関の会合には、行政がもっと紹介役を務めることで人の交流がより図れるものとなる。</li> <li>○異業種交流を行なう場合、目的を明確にして実施しないと上手くマッチングさせることができない。</li> <li>○同業種・異業種交流では、新たな仕組みをつくるより、既存の仕組みを再生させることの方がよいのではないかと。</li> <li>○基礎自治体の役割は場づくりであるとも思う。いろいろな団体が持っている資産をうまくコーディネートすればよい。</li> <li>○INS(岩手ネットワークシステム)など先進的な取り組みが参考となるのではないかと。</li> </ul>	岸和田市産業振興新戦略プランの施策体系の見直し(案)に対していただいたご意見を踏まえて、岸和田市産業振興新戦略プラン[改訂版](案)の作成を行ない、次回委員会において提示することとした。
第4回	H 26.10.20	(1)岸和田市産業振興新戦略プランの進行管理について (2)岸和田市産業振興新戦略プラン[改定版](案)について			
第5回	H26 11月中旬	—予定— (1)岸和田市産業振興新戦略プラン[改定版](案)について			